

様式第1の2（第1条の6関係）

危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

桐生市消防長 殿		令和○年 ○月 ○日	
申請者		住所 ○県○市○町○丁目○-○（電話 0000-00-0000）	
氏名 ○○工場株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○			
危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	○県○市○町○丁目○-○ 電話 0000（00）0000	
	氏名	○○工場株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○	
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称	○県○市○町○丁目○-○ ○○工場株式会社 東側空地	
危険物の類、品名及び最大数量	第4類 第1石油類（ガソリン） 3,000 リットル	指定数量の倍数	15 倍
仮貯蔵・仮取扱いの方法	200 リットルの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶から金属製携行缶への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。		
仮貯蔵・仮取扱いの期間	令和○年 ○月 ○日から 令和○年 ○月 ○日まで 10 日間		
管理の状況（消火設備の設置状況を含む）	敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。作業前後に点検を行い、その結果を記録する。 第五種消火設備 10 型粉末消火設備 3 本設置する		
現場管理責任者	住所	○県○市○町○丁目○-○ 緊急連絡先 0000（00）0000	
	氏名	○○ ○○ 【危険物取扱者免状：Ⓐ（種類：乙種第4類）・無】	
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	被災地における燃料不足により、災害復興支援車両等への燃料補給を行うため。注入完了後、流出等ないことを確認し完了する。		
その他必要事項	金属製携行缶による給油は、この場所で行わない。		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
4 ※印の欄は、記入しないこと。